

横浜地区講演会

「触媒化学の多様化と深化～触媒研究拠点の形成に向けた取り組みから見えるもの～」

資源・エネルギー・環境問題の解決から医薬品や各種機能材料開発にいたるまで、触媒は化学のあらゆる分野で必要不可欠な存在であり、その科学は益々深化しつつあります。そしてこのような潮流の中、均一系触媒から不均一系触媒にいたるまで、原子・分子レベルでの活性点構造の制御に基づく高機能化を目指した研究が数多く推進されています。本講演会では、神奈川大学工学部において展開されている触媒研究を事例として、触媒設計の視点から多様化している触媒系（有機金属化学・錯体化学・固体触媒化学）について概観し、触媒化学の深化と今後の方向性を考えていきたいと思っております。産官学問わず多くの皆様の御来聴をお待ち申し上げます（学生の方の御来聴も大歓迎です）。

日時：平成26年3月1日（土曜日）14時～17時10分

場所：神奈川大学横浜キャンパス セレストホール

プログラム

14:00～ 開会挨拶

14:05～「均一系低原子価チタン反応剤の発生とその触媒的利用」

岡本 専太郎（神奈川大学工学部物質生命化学科）

14:35～「均一系と不均一系の架け橋～人工酸化酵素の創出を目指した固定化錯体触媒の開発」

引地 史郎（神奈川大学工学部物質生命化学科）

（15:05～ 休憩）

15:15～「結晶性複合酸化物合成を通じた酸化触媒機能の原子、分子レベル理解」

上田 渉（北海道大学触媒化学研究センター）

（16:00～ 休憩）

16:10～「C1,C2 ケミストリーの過去・現在・未来」

内藤 周式（神奈川大学工学部物質生命化学科）

17:30～ 懇親会（学内生協食堂 cafe）

参加費：講演会は無料、懇親会は参加費 3000 円程度(実費；当日徴収いたします)

参加申し込み方法：2月25日（火曜日）までに下記連絡先まで E-メールもしくは FAX にてお申し込み下さい。

講演会終了後に学内生協食堂にて懇親会を開催致しますので情報交換・交流促進の場としてご活用いただければ幸いです。懇親会への参加を希望される方は講演会への参加申し込みの際に同時にお申し込み下さい。

なお横浜地区講演会の創設・運営・発展に多大なる御尽力をいただきました内藤周式先生は、今年度を持ちまして神奈川大学を定年退職されます。この機会に内藤先生を囲んで懇親を深めていただければ幸いです。

連絡先：

〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

神奈川大学 工学部 物質生命化学科

引地 史郎

Tel : 045-481-5661 内線 3890

Fax : 045-413-9770

E-mail : hikichi@kanagawa-u.ac.jp